FOR.A
INNOVATIONS IN VIDEO
and AUDIO TECHNOLOGY

インストレーション ガイド

HVS-2000GUI

GUI ソフトウェア

Graphical User Interface Software

Version 1.00.0-01-37 - Higher

株式会社　朋栄

改訂履歴

Ver.	Rev.	年月日	改訂内容	章／ページ
1.00	-	2015/07/15	初版	
1.00.0-00-88	-	2016/09/26	章立て変更	
1.00.0-01-09	-	2017/02/20	Windows 10 対応 MU の IP アドレスの変更方法追加	1-3 4-1-2
1.00.0-01-29	-	2017/07/24	コントロールパネルとの連動を追加 データ保存、データ読込を追加	4-2 4-3、4-4
1.00.0-01-37	-	2017/09/07	TCP PORT の設定削除	3-4-2

ソフトウェア使用許諾契約書

この契約は、お客様（以下「使用者」と言う）と株式会社 朋栄（以下「当社」と言う）との間で締結される契約書です。本ソフトウェアおよび取扱説明書等の関連資料（以下「本製品」と言う）は、その使用を許諾されるもので、販売されるものではありません。使用者は、本ソフトウェアをインストールして使用することによって、または本ソフトウェアがインストールされた当社製品を使用することによって、この契約に同意されたものとします。本ソフトウェアの使用許諾条件は下記の通りとします。

第 1 条　使用許諾

1. 当社は、使用者に対し、本製品を取扱説明書及び付随文書により説明されている用法に従って使用することを許諾します。この用法以外の方法で使用することはできません。
2. 当社は、使用者自身が本製品を使用することを許諾するもので、使用者が第三者に使用許諾権を与えたり、その他の方法で第三者に本製品を使用させることはできません。
3. 本ソフトウェアは、原則として、1 台のコンピュータまたは 1 台のデバイス上でのみ使用することができます。
4. 本ソフトウェアは複数のプログラムにより構成される場合がありますが、これらを分離し個別のソフトウェアとして使用することはできません。

第 2 条　頒布・複製・貸与・譲渡の禁止

使用者は、当社の事前許可なくして、本製品の全部または一部を、通信回線を利用して頒布したり、電子メディア等に複製して貸与・譲渡することはできません。また、複製・貸与・譲渡を試みることもできません。

第 3 条　保証の制限

当社及び各プログラムのライセンサは、本製品に関する明示、黙示を問わず、あらゆる法律上の担保責任を負いません。本製品は使用者の責任でご使用ください。本製品の使用もしくは使用不能から生じたいかなる損害及びコンテンツ等のデータ消失により生じたいかなる損害についても、当社及び各プログラムのライセンサは一切責任を負いません。

第 4 条　アップグレードまたはアップデート版の提供

本ソフトウェアのアップグレードまたはアップデートがなされた場合には、使用者は当社が別途定める対価を支払うことにより、新バージョンの製品を使用することができます。また、アップグレード後は、当社の事前許可なくして旧バージョンの製品を使用することはできません。

第 5 条　契約の有効期間

本契約の有効期間は、使用者が本ソフトウェアを使用開始した日から 1 年間とします。ただし、契約期間満了期日の 1ヶ月前までに、使用者または当社のいずれからも申し出がない場合は、更に 1 年間同一条件で延長するものとし、その後も同様とします。

第 6 条　契約の解除

1. 使用者が次のいずれかに該当した場合、当社は直ちに本契約を解除できるものとします。
   (1) 本契約の条項のいずれかに違反した場合
   (2) 使用者の支払い不能、または使用者が支払いを拒絶した場合
2. 次の場合には、使用者は書面による通知により、本契約を解除することができます。しかし、使用者は当社に既に支払った対価の返還を求めることはできません。
   (1) 使用許諾権を放棄した場合
   (2) 使用者が本ソフトウェアパッケージを滅失または紛失し、本ソフトウェアパッケージの存在を当社が確認できなくなった場合
3. 本契約解除後は、使用者は本製品を一切使用することはできません。

第 7 条　権利の帰属

本製品の著作権、知的財産権その他一切の権利は、当社または各プログラムのライセンサに帰属します。使用者が、本ソフトウェアに含まれるプログラムに対して修正を加えること、また逆アセンブル、デコンパイル、リバースエンジニアリング等によりプログラムを解析することを禁止します。

第 8 条　その他

本契約は日本国の著作権法及び著作権に関する条約をはじめ、その他の無体財産権に関する法律並びに国際条約によって保護されています。使用者は、本製品の使用に当たり、著作権法等の法令を遵守するものとします。

第 9 条　管轄裁判所

本契約に関し紛争が生じた場合には、紛争解決のため東京地方裁判所をその管轄裁判所とします。

第 10 条　サポート

使用者が本ソフトウェアの受領後 1 年以内に、当社が本ソフトウェアの誤りを発見したとき、またはプログラムを修正したときは、それに関する情報または修正したプログラムを無償で提供いたします。

目次

1. HVS-2000GUI.....5
1-1. 開梱および確認.....5
1-2. セットアップの手順.....5
1-3. PC の動作環境.....5

2. HVS-2000GUI のインストール.....6
2-1. HVS-2000GUI のインストール.....6
2-2. HVS-2000GUI の起動と終了.....6
2-3. HVS-2000GUI のアンインストール.....6

3. 接続.....7
3-1. HVS-2000 システムと PC のネットワーク構成.....7
3-2. PC のネットワーク設定.....7
3-3. PC のネットワークデバイス設定.....8
3-4. MU (HVS-2000) と接続できないとき.....9
3-4-1. Windows ファイアウォールに登録する.....9
3-4-2. MU を手動で選択する.....9
3-4-3. MU の IP アドレスの変更.....10

4. HVS-2000GUI の操作.....11
4-1. ステータスを確認する.....11
4-2. コントロールパネルとの連動.....13
4-3. データ保存 (スイッチャ >> USB メモリ).....15
4-4. データ読み込み (USB メモリ >> スイッチャ).....15

1. HVS-2000GUI

HVS-2000GUI は PC にインストールすることにより、HVS-2000 を PC からコントロールすることのできるソフトウェアです。

1-1. 開梱および確認

このたびは、HVS-2000GUI をお買い上げ頂きまして、誠にありがとうございます。品物に間違いがないかどうかご確認ください。品物に損傷、不足、間違いがあった場合は、販売代理店までご連絡ください。

品名	数量	備考
CD-ROM	1	インストレーションディスク 取扱説明書 (PDF)を含む
インストレーションガイド	1	（本書）

1-2. セットアップの手順

HVS-2000GUI のインストール (2 章参照)
↓
PC のネットワーク設定 (3-2 章、3-3 章参照)
↓
HVS-2000 システムと PC の接続 (3-1 章参照)
↓
HVS-2000GUI の起動 (2-2 章参照)
↓
HVS-2000 スイッチャ操作

1-3. PC の動作環境

HVS-2000GUI をインストールする PC には次の動作環境が必要です。

OS	Windows 7 (Home Premium Edition 以上) Windows 10 (Pro 以上)
CPU	Intel(R) Atom(TM) CPU N450 @ 1.66GHz 以上
空きメモリ	1GB 以上
ストレージ	32GB 以上
ディスプレイ	解像度 WXGA (1280 x 768 pixels) 以上、24 ビットフルカラー
グラフィック	ビデオメモリ 256.0MB 以上
ネットワークポート	1 ポート、1000BASE-T　(MU 接続用)(USB-LAN 変換でも可 *1)
USB ポート	1 ポート、FILE 送受信用 HVS-2000TPU を使用する場合、さらに最低 2 ポート最大 4 ポート必要*2
HDMI ポート	1 ポート (HVS-2000TPU を使用する場合必要) *2

*1　USB-LAN 変換デバイスを使用するときは、PC がスリープ・休止状態にならないよう設定してください。
*2　HVS-2000TPU モニタについては、「HVS-2000TPUS/TPU インストレーションガイド」参照

2. HVS-2000GUI のインストール

2-1. HVS-2000GUI のインストール

ソフトウェアをインストールする前に、Windows 画面上の文字のサイズを[小-100%]に設定してください。次の方法で設定します。

- [スタート] ボタンをタップし、[コントロールパネル] - [デスクトップのカスタマイズ] - [ディスプレイ]を開きます。[小−100%] を選択し [適用] をタップしてください。

◆ インストール手順

(1) 付属のインストール CD-ROM を PC にセットし、マイコンピュータ等から CD-ROM を開き、フォルダ内の［HVS-2000GUI_vXXXX_XXXX_XXXX.exe］をダブルタップしてセットアップウィザードを起動します。

CD-ROMの内容をPCのフォルダにコピーしてインストールを行う場合は、フォルダ名に使用できる文字は半角英数字と記号だけです。それ以外の文字を使用すると、インストールが正常に完了しないことがあります。

(2) HVS-2000GUI のインストールが自動で行われます。

(3) 正常にインストールが完了すると次の画面が表示されます。チェックボックスにチェックを入れて [Finish] を押すと、インストールウィザード終了と共に HVS-2000GUI が起動します。

2-2. HVS-2000GUI の起動と終了

◆ 起動

(1) タスクバーの [スタート] メニューから [すべてのプログラム] - [FOR-A] - [HANABI] - [HVS-2000GUI] を選択してソフトウェアを起動します。

(2) HOME 画面が表示されます。右上の STATUS ランプが緑になるのを確認して操作を行ってください。
接続が完了し(「3. 接続」参照)、HVS-2000GUI を起動すると、自動的に MU との接続が確立します。
(GUI 右下にある LINK が CONNECTION という表示に変わります。)

◆ 終了

画面右上の × ボタンをタップし、[YES] をタップすると、ソフトウェアが終了します。

2-3. HVS-2000GUI のアンインストール

(1) コントロールパネルから [プログラムの追加と削除] を開き、[HVS-2000GUI] を選択し、[アンインストール] をタップします。

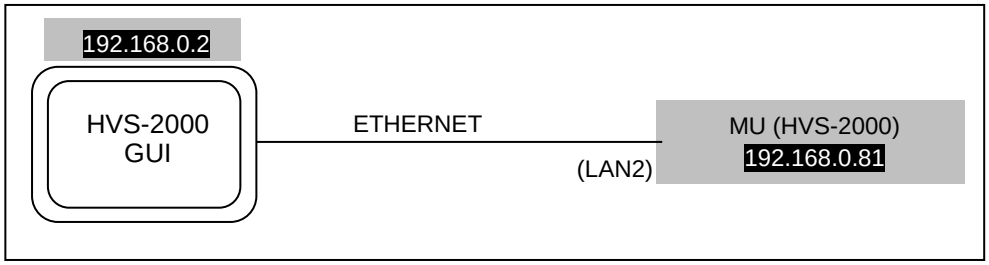
(2) [削除 (R)] を選択して [次へ (N) >] をタップしてください。

(3) アンインストールが終わったら [完了 (F)] ボタンを押して終了です。

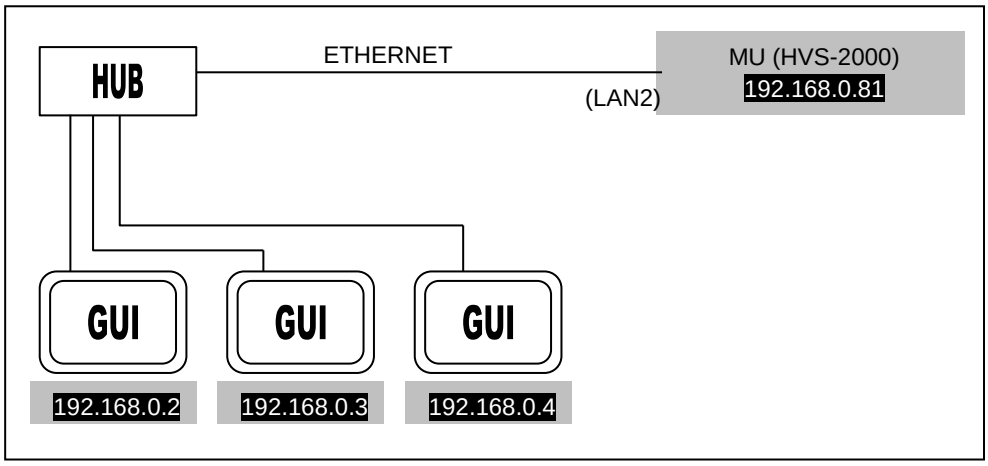
3. 接続

3-1. HVS-2000 システムと PC のネットワーク構成

下図のように接続します。



イーサネットハブを使用すると、1 台の MU (HVS-2000) を、最大 3 つの GUI (コントロールパネルの Midas Touch、HVS-2000TPUS も含む) から制御することができます。



3-2. PC のネットワーク設定

HVS-2000 と GUI はイーサネットで接続します。HVS-2000 の ETHERNET ポートは 10/100/1000BASE-T 対応です。CAT5e または CAT6 ケーブルで接続してください。直接接続する場合はクロスケーブル、ハブを使用する場合はストレートケーブルを使用してください。

◆ **MU (HVS-2000)の LAN1 ポート出荷時設定**

IP アドレス	192.168.0.80
サブネットマスク	255.255.255.0
ゲートウェイ	192.168.0.1

◆ **MU (HVS-2000)の LAN2 ポート出荷時設定**

IP アドレス	192.168.0.81
サブネットマスク	255.255.255.0
ゲートウェイ	192.168.0.1

◆ **PC のネットワーク設定 (MU の IP アドレスが出荷時設定の場合)**

設定可能な IP アドレスの範囲	192.168.0.2～254 (同じネットワーク内で他の機器が使用している IP アドレスは使用しないでください。)
サブネットマスク	255.255.255.0
ゲートウェイ	192.168.0.1

(1) [スタート] ボタンをタップし、[コントロール パネル] - [ネットワークとインターネット] - [ネットワークと共有センター] の順にタップします。
(2) [ローカルエリア接続]をタップし、[プロパティ] をタップします。管理者のパスワードまたは確認を求められた場合は、パスワードを入力するか、確認情報を提供します。
(3) [ネットワーク] タブをタップします。[この接続は次の項目を使用します] の欄で [Internet Protocol Version 4 (TCP/IPv4)]をタップし、[プロパティ] をタップします。
(4) [次の IP アドレスを使う] をタップし、[IP アドレス]、[サブネット マスク] のボックスに IP アドレス設定を入力します。

設定終了後 OK をタップし、すべてのウィンドウを閉じます。

注意

PC のネットワーク設定方法は OS によって異なりますので、詳しくは OS のマニュアルを参照してください。
なお、IP アドレスを元に戻す必要がある場合は、現在の設定をメモで残しておいてください。
社内 LAN 等の既存の LAN 環境内で使用する場合はネットワーク管理者とご相談ください。

3-3. PC のネットワークデバイス設定

HVS-2000GUIを使う前に、HVS-2000GUIをインストールしたPCのネットワークデバイスの設定を変更します。

(1) スタートメニューを開き、[コントロールパネル] を選択します。
(2) 画面右上の「表示方法」で [大きいアイコン] を選択します。
(3) [デバイスマネージャー] を選択します。
(4) [ネットワーク アダプター] のイーサネットデバイスをダブルタップして、デバイスのプロパティ画面を開きます。
(イーサネットデバイスはお使いの機器により異なりますので、該当するデバイスを選択してください。)
(5) [詳細設定] タブを選択します。
(6) プロパティボックス内で [一括送信オフロード v2(IPv4)] を選び、値ボックスで [無効] を選択します。
(7) [OK] をタップします。

お使いの機器によりプロパティ名が異なる場合や、設定がない場合があります。

3-4. MU (HVS-2000) と接続できないとき

HVS-2000GUIを起動すると自動的にMUとの接続が確立します。(GUI右下にあるLINKがCONNECTIONという表示に変わります。)

3-4-1. Windows ファイアウォールに登録する

MUとPCの接続が確立しない、またはWindowsファイアウォールウィンドウが表示されなかった場合は、次の手順で、HVS-2000GUIをWindowsファイアウォールに登録してください。

(1) [スタート] - [コントロールパネル] - [Windows ファイアウォール] - [Windows ファイアウォールを介したプログラムまたは機能を許可する] の順でタップします。
(2) [設定の変更] をタップします。
(3) HVS-2000GUI にチェックを入れ、[OK] をタップします。

3-4-2. MU を手動で選択する

通常は初期設定のままで接続できますが、MU の IP アドレス (LAN2) を指定して接続することもできます。MUのIPアドレスが変更された場合や他のMUと接続する場合は、下記のようにして接続するMUを手動で選択してください。

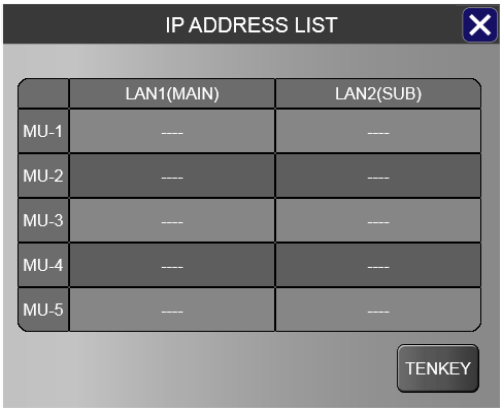
◆ **IP アドレスを入力する方法**

(1) [SETUP > HOME > GUI SETUP] メニューを表示します。
(2) **CONTROL MU** をタップし、画面上部にパラメータを表示します。
(3) 左端の **CONTROL MU IP ADDRESS** をタップし、制御する MU の IP アドレス (LAN2) をテンキーから設定します。
(4) **RECONNECT** をタップし、**EXEC** をタップします。接続する MU IP ADDRESS がポップアップ表示されます。**YES** をタップすると、MUと接続します。

◆ **IP アドレスリストから選択する方法**

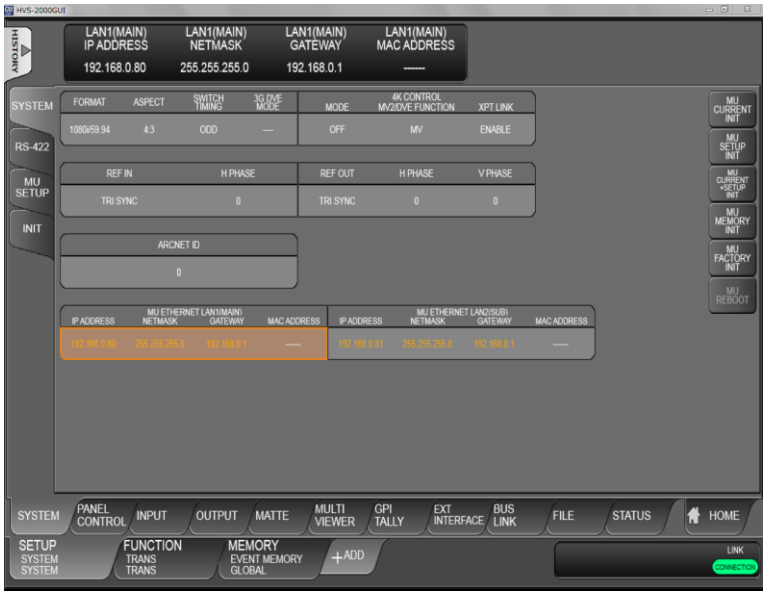
(1) [SETUP > HOME > GUI SETUP] メニューを表示します。
(2) **CONTROL MU** をタップし、画面上部にパラメータを表示します。

(3) 左端の **CONTROL MU IP ADDRESS** をタップし、テンキーを表示します。
(4) テンキー上の **LIST** をタップします。
(5) 下図の IP アドレスの一覧が表示されます。
(6) 接続したい MU の IP アドレスを選択します。
(7) **RECONNECT** をタップし、**EXEC** をタップします。接続する MU IP ADDRESS がポップアップ表示されます。**YES** をタップすると、MU と接続します。



3-4-3. MU の IP アドレスの変更

[SETUP > SYSTEM > SYSTEM] メニューを開き、LAN1(MAIN)ポートと LAN2(SUB)ポートの設定を行います。



パラメータをタップした後、設定エリアをタップすることでキーパッドが表示されます。入力後、**Enter** をタップします。

LAN ポート変更には本体の再起動が必要です。他の必要な設定を行った後で、再起動することもできます。すべての設定完了後に、**MU REBOOT** をタップしてください。

4. HVS-2000GUI の操作

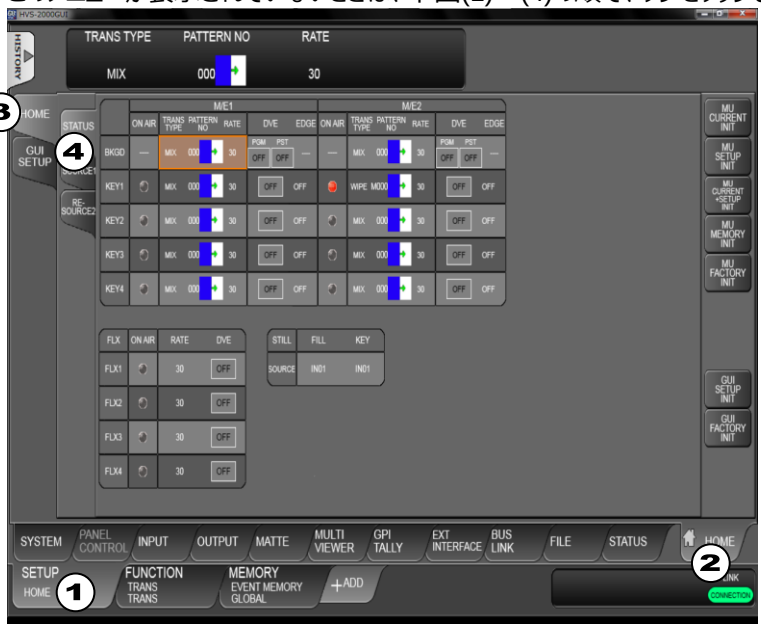
HVS-2000GUI の操作方法およびメニューの内容については、CD 内の「HVS-2000GUI 取扱説明書」を参照してください。

4-1. ステータスを確認する

HOME 画面では M/E、FLEXaKEY、STILL の状態を確認することができます。

◆ **[SETUP > HOME > HOME > STATUS] メニュー**

このメニューが表示されていないときは、下図(1)～(4)の順で、タブをタップしてメニューを表示します。



ON AIR	TRANS TYPE	PATTERN NO	RATE	DVE	EDGE	FILL	KEY
赤点灯: オンエア 消灯: オフエア	現在の設定を表示			DVE チャネル使用時は チャネルの種類	キーエッジ の種類	選択している 映像ソース	

◆ **[SETUP > HOME > HOME > RE-SOURCE 1] メニュー**

記号	意味
✔	使用中
X	現在使用できません。
---	使用できません。
	使用可能です。

◆ **[SETUP > HOME > HOME > RE-SOURCE 2] メニュー**

MELite / AUX

M/E Lite / AUX	BUS	AUX TRANS		AUX INHIBIT	
		ENABLE	SELECT	MU	OU
2 つの中で 有効な出力 が点灯	MELite の 映像ソース	AUX トランジ ションの 有効／無効	トランジションに 使用する バス	AUX 出力映像 変更の 有効／無効	AUX バスボタン の操作の 有効／無効

M/E UTILITY

XPT	MASK	SIDE PANEL	EFF BKGD	ANCILLARY PGM	ANCILLARY OUT1-3
選択している 映像ソース	M/E UTILITY の使用状況を表示				

AUX UTILITY

XPT	ASSIGN
選択している 映像ソース	AUX UTILITY の使用状況を表示

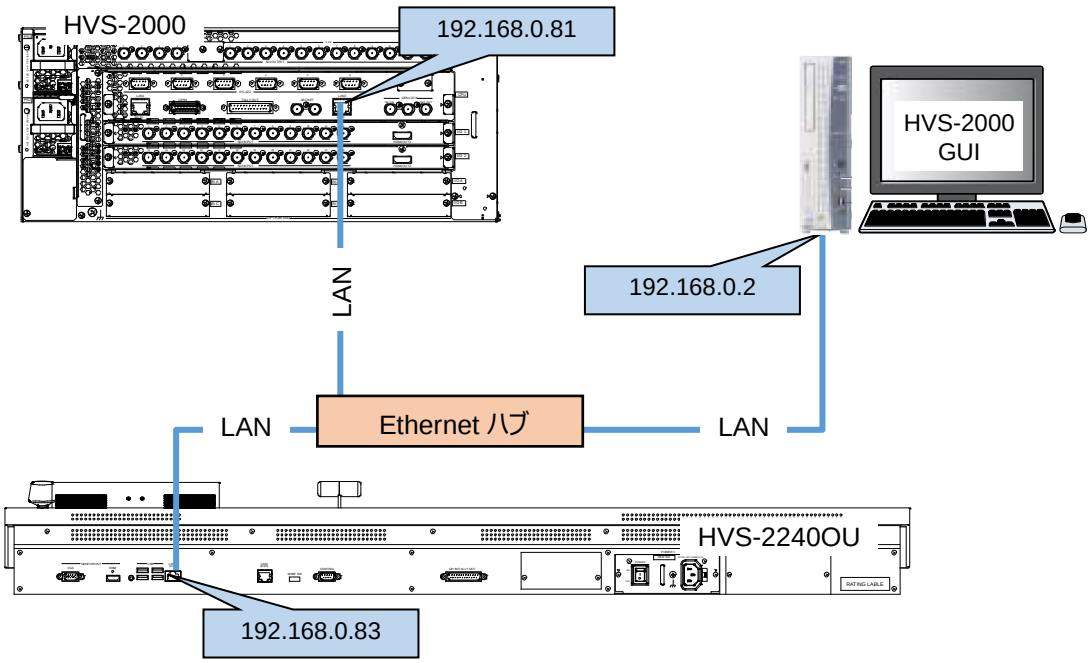
FLEXaKEY

ASSIGN
FLEXaKEY のアサイン状態を表示

4-2. コントロールパネルとの連動

HVS-2000GUI では、通常コントロールパネルのパネル設定を行うことができません。また、MiniMenu と MidasTouch のようにメニューの動きをリンクさせることができません。

Ethernetハブを使用し、以下のように接続・設定すると、HVS-2000GUIでもコントロールパネルの設定を含めたすべてのメニューを操作できるようになります。また、メニューのリンクを行うことができるようになります。



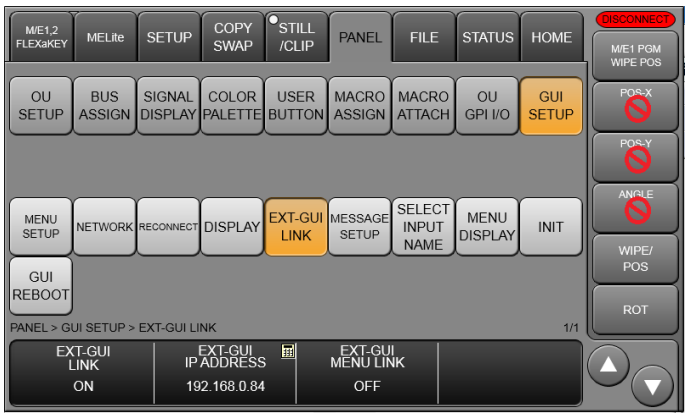
◆ **コントロールパネル (Mini Menu) で行う設定**

(1) [PANEL > GUI SETUP > EXT-GUI LINK] メニューを開きます。

(2) **EXT-GUI IP ADDRESS** で接続先の HVS-2000GUI がインストールされた PC の IP アドレス (上図では 192.168.0.2) を指定します。(IP アドレスポップアップから LIST を選択すると現在接続可能な GUI の IP アドレスを選択することができます。)

(3) **EXT-GUI LINK** を ON にします。

(4) コントロールパネル (MiniMenu) と HVS-2000GUI のメニューをリンクさせたい場合は **EXT-GUI MENU LINK** を ON にします。別々に操作したい場合は OFF にします。



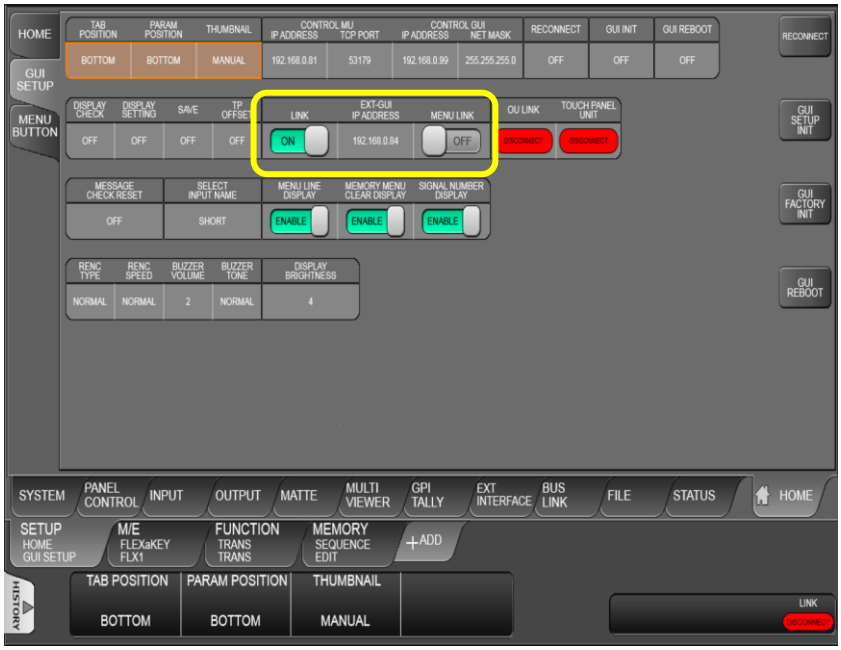
◆ **HVS-2000GUI で行う設定**

(1) [HOME > GUI SETUP] メニューを開きます。

(2) **EXT-GUI IP ADDRESS** でコントロールパネル (Mini Menu) の IP アドレス (上図では 192.168.0.83) を指定します。(IP アドレスポップアップから LIST を選択すると現在接続可能な GUI の IP アドレスを選択することができます。)

(3) **EXT-GUI LINK** を ON にします。

(4) コントロールパネル (MiniMenu) と HVS-2000GUI のメニューをリンクさせたい場合は、**EXT-GUI MENU LINK** を ON にします。別々に操作したい場合は OFF にします。

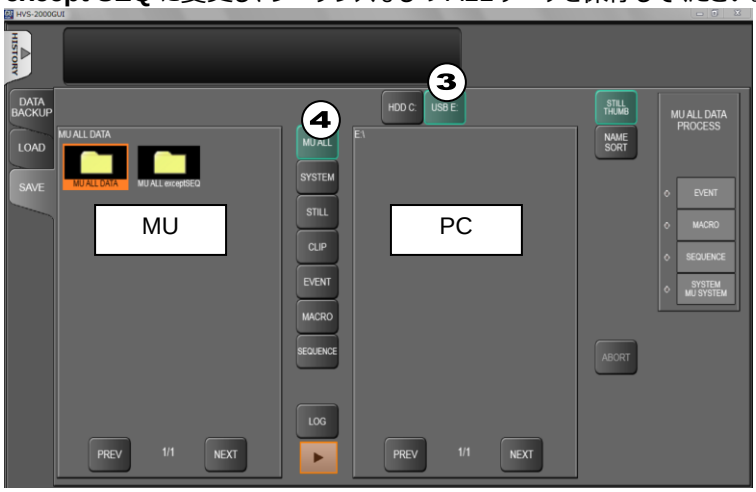


4-3. データ保存 (スイッチャ >> USB メモリ)

システムデータ、バスの設定データ、スチル画像、WIPE/DVE モディファイデータ、イベントを、USB メモリへ保存することができます。すべての設定データを保存する場合を例に操作方法を説明します。

(1) PC の USB ポートに USB メモリを挿入します。
(2) [SETUP > FILE > SAVE] メニューを開きます。
(3) **USB E:** (データを保存するドライブ、環境に合わせて選択) をタップします。
(4) **MU ALL** をタップします。
(5) 左画面の **MU ALL DATA** アイコンをタップします。
(6) 確認メッセージが表示されたら **YES** をタップすると、データが保存されます。

ALL データの各ファイルは USB メモリのルートディレクトリの「HVS2000」フォルダに保存されます。大量のシーケンスデータがあると、保存に 30 分以上かかる場合があります。そのようなときは、**MU ALL DATA** を **MU ALL except SEQ** に変更し、シーケンスなしの ALL データを保存してください。



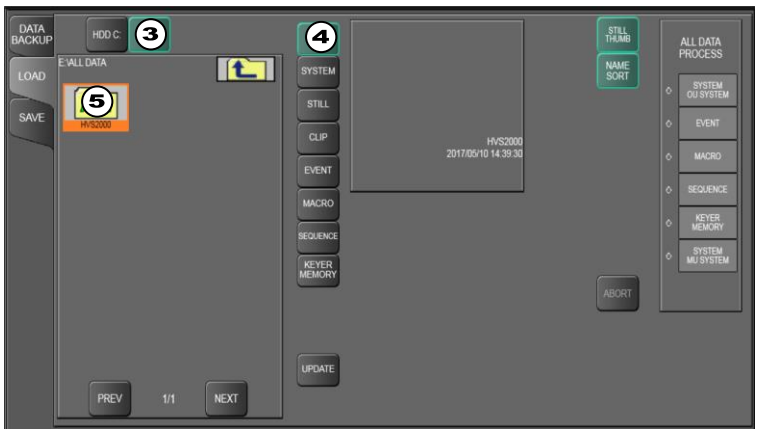
注意

USB メモリにアクセスしているときは、絶対に抜かないでください。 また、USB メモリへ保存したときは保存時刻も記録されます。この時刻には本体内部の時計が使用されます。

4-4. データ読み込み (USB メモリ >> スイッチャ)

USB メモリに保存した ALL (すべての設定) データを読み込む場合を例に、操作方法を説明します。

(1) ALL データが保存されている USB メモリを PC の USB ポートに挿入します。
(2) [SETUP > FILE > LOAD] メニューを表示します。
(3) **USB E:** (データが保存されているドライブ、環境に合わせて選択) をタップします。
(4) **MUALL** をタップします。
(5) データが保存されているフォルダ (HVS-2000) を選びます。すべての設定データがシステムに読み込まれます。
(6) システムをリブートします。



注意

ALL データ、SYS データを読み込んだ時は、必ず、MU の電源を入れ直してください。電源を入れ直さないとシステム設定が有効になりません。

2020/08/17 Printed in Japan

サービスに関するお問い合わせは

FOR.A® INNOVATIONS IN VIDEO and AUDIO TECHNOLOGY

24h 365 days サービスセンター

03-3446-8575

株式会社朋栄

本　　社	〒150-0013	東京都渋谷区恵比寿 3-8-1	Tel:03-3446-3121 (代)
関西支店	〒530-0055	大阪市北区野崎町 9-8 永楽ニッセイビル 8F	Tel:06-6366-8288 (代)
札幌営業所	〒004-0015	札幌市厚別区下野幌テクノパーク 2-1-16	Tel:011-898-2011 (代)
東北営業所	〒980-0021	仙台市青葉区中央 2-10-30 仙台明芳ビル	Tel:022-268-6181 (代)
東海営業所	〒460-0003	名古屋市中区錦 1-20-25 広小路 YMD ビル	Tel:052-232-2691 (代)
中国営業所	〒730-0012	広島市中区上八丁掘 5-2 KM ビル	Tel:082-224-0591 (代)
松山営業所	〒790-0011	愛媛県松山市千舟町 4-6-1 松山フコク生命ビル 4F	Tel:089-993-5105 (代)
九州営業所	〒810-0004	福岡市中央区渡辺通 2-4-8 福岡小学館ビル	Tel:092-731-0591 (代)
沖縄営業所	〒900-0015	沖縄県那覇市久茂地 3-17-5 美栄橋ビル	Tel:098-860-4178 (代)
佐倉研究開発センター	〒285-8580	千葉県佐倉市大作 2-3-3	Tel:043-498-1230 (代)
札幌研究開発センター	〒004-0015	札幌市厚別区下野幌テクノパーク 2-1-16	Tel:011-898-2018 (代)
福岡研究開発センター	〒812-0018	福岡市博多区住吉 3-1-80 オヌキ新博多ビル 3F	Tel:092-402-2705 (代)

http://www.for-a.co.jp/